

北陸・信越版

日鉄住金工材の上野工場副長 『にいがたの名工』を受賞

日鉄住金工材(本社・上越市、社長・石川昌弘氏)の上野康秀機器部機器工場副長は昨年11月28日、新潟県職業能力開発推進大会で『にいがたの名工』を受賞した。現場の技能レベルの高さを証左する受賞となった。

にいがたの名工は新潟県が優れた技能の活

用を通じ、新潟県内の産業界で人材を育成し優れた技能の継承を図ることを目的に2006年に設立された。

上野氏の受賞理由は同社の主力製品である電解銅箔製造用チタン製電着ドラム製造で最も重要な工程のひとつである「焼き嵌め」技術の確立。「焼き嵌め」とはインナードラム



受賞した上野氏

(鉄部分)の外側にト
ップスキンと称するチ
タン製の外筒を被せる
工程であ
り、均一に
熱して膨張
したチタン
に鉄部分を
嵌め入れ、
その後冷却
することで
密着させ
る。温度、時間管理を
試行錯誤しながら適正
な条件、施工方法を編
み出した。

また、上野氏は化学
プラントなど向けのチ
タンなどを使用した産
業機器製作において異
種金属材料の接合など
に秀でた技能を發揮し
て業界の技術向上に貢
献してきた。

30年かけ諸先輩に教
わった異種金属の接合
知識や自身のノウハウ
をノートに取りながら
自分の技術レベルを高
めたことが現在の施工
法確立につながってい
る。ベテランとして社
内の技能継承にもノウ
ハウを惜しみなく注ぎ
込む。

上野氏は「これまで
の取り組みがお客様へ
より良い製品を提供す
ることにつながった事
を評価いただいたと思
っている。受賞を励み
に自分の力量、技術を
さらに向上させ後進の
指導育成に尽力した
い」と語る。

上野氏の受賞は会社
見学、採用活動の際に
生かされている。「高
い技能が研さんでさる
職場」とPR。若手社
員の目標や励みにもつ
ながっている。

加えて上野氏は防災
士の資格を生かし、地
域の防災活動に積極的
に参画するなど、CSR
活動にも貢献してい
る。